

B^ビi^オアナリスト

養成講座 初級コース 短期集中プログラム
平成26年7月12,13,20日

生きもの調査のスキルを獲得し、身近な自然を観察・分析することで
その地域の環境を評価することが出来る、それがBioアナリスト。

いわばプロフェッショナルなナチュラルリストであり、

この資格を取得することで、環境貢献型事業の企画開発・地域商品の開発などの
基本的考え方が身につき、今後の環境ビジネス分野での活躍の場が広がります。

会場 7月12日：中越パルプ工業(株)8F会議室（東京都中央区銀座） 7月13、20日：霜里農場（埼玉県小川町）

霜里農場は埼玉県小川町にあり、プロフェッショナルでも取り
上げられた有機農業の先駆者金子美登さんの農場で、地域全体
で有機農業に取り組む魅力的なところで

募集人数：20名【受講料】50,000円（税別）

※テキスト代・調査道具貸し出し費用を含みます。

お申込・お問合せ：www.ikimono-net.com

またはTEL：03-3523-0028

E-mail：bioanalist@food-trust.jp まで



対象者 「生きもの認証システム」の審査員・判定員を目指す方／有機農業や自然農法を志している方・
実践している方／有機農産物の流通や販売に関する職に就きたい方・及び現職の方／環境保全に関わる職
に就きたい方・及び現職の方／生きものや植物に興味がある方／里山の保全や農村文化の伝承に興味があ
る方／オーガニックな食生活やナチュラルなライフスタイルを実践したい方／安全な食を求める消費者団
体の方／小中学生に理科や社会科を教えていらっしゃる方／地域で生きもの観察会を開催したい方



主催：一般社団法人 生きもの認証推進協会 共催：一般社団法人フードトラストプロジェクト

協力：埼玉県小川町霜里農場、中越パルプ工業株式会社、一般社団法人日本在来種みつばち協会

※最新情報は公式サイトにて <http://www.ikimono-net.com/>

講師プロフィール



徳江 倫明 Michiaki Tokue

1978年日本初の有機農産物専門流通団体「大地を守る会」の創設メンバーとして共同購入システムの開発・卸物流の開発を手がける。1988年には有機農産物宅配システム「らでいっしゅぼーや」を興し、日本初の本格的な食品宅配流通を展開。2000年には有機JAS認証機関を設立。現在は2005年設立のエフティピース株式会社において、生産者と販売者のコーディネートやオーガニックマーケット拡大に奔走するなど、環境事業や食の安全・安心に関する新しい分野の企画開発に常に挑戦し続けている。一般社団法人生きもの認証推進協会代表理事。NPO法人IFOAMジャパン副理事長。エフティピース株式会社 代表取締役会長。



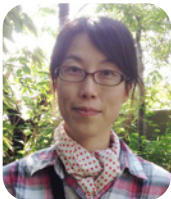
高安 和夫 Kazuo Takayasu

國學院大学法学部卒業。ナショナル住宅千葉パナホーム(株)を経て、農業生産法人(有)アグリクリエイト入社。2003年取締役東京支社長就任。2006年「銀座ミツバチプロジェクト」を田中淳夫氏と立ち上げ理事長に就任。同団体が2010年環境大臣表彰受賞、2012年には農林水産大臣より「食と地域の絆づくり」優良団体に選定される。ファーム・エイド銀座実行委員長、銀座農業塾塾長。2010年茨城農政審議会農業改革委員就任。一般社団法人日本在来種みつばち協会設立、代表理事就任。「人と自然の共生する社会」実現を目指す社会起業家として日々奮闘中！著書に「銀座ミツバチ奮闘記～都市と地域の絆づくり～」がある。



林 鷹央 Takao Hayashi

武蔵野美術大学大学院造形学卒業。幼少より生きものに親しむ。デザイン・編集の現場を経て、自然環境分野へ転身。NPO法人「メダカのがっこう」で学び2006年に独立。“生きもの係・代表”となり、自然と共生した里山や農業、民謡など里山文化の保存・復興に力を注ぐ。「田んぼの生きもの調査」「街の生きもの調べ」「生きもの語り」等の活動を全国の農村や学校等で展開。2006年より雑誌「のんびる」にコラムを連載中。「首都圏ネットワーク」、「動物奇想天外」、「とことんはてな？」等のメディア出演・解説など多数。一般社団法人生きもの認証推進協会理事、「食楽風土(クラフド)」渋谷支部長。



徳永 亜由美 Ayumi Tokunaga

多摩美術大学美術学部絵画科卒業。企画・制作・製造等を経て、主婦になってからエスニック、野草料理、天然酵母パンなどの健康食他、様々な料理を学ぶ。都会でもできる自給生活を目指し、地元の畑では野菜作り、自宅では味噌や梅干しなどの発酵食を毎年作っている。生物多様性を活かした自然農による稲作も学ぶ。食楽風土(クラフド)創設メンバーとして、里山ハーブ料理や美肌ローションづくり、生きもの調査指導を担当している。野草料理講師、クラフト作家、食楽風土 青梅支部長、2014年より雑誌「のんびる」に里山ハーブ料理のコラムを連載中。



藤井 淳生 Atsuo Fujii

千葉大学園芸学部農芸化学科卒業。青果物流通業社、農業雑誌出版社勤務を経て、「日本オーガニック&ナチュラルフーズ協会」事務局勤務。米国独立検査官協会にてオーガニック検査員資格取得。2003年(株)農水産IDを設立(取締役)。ISO9000,14000,15161の審査員。JGAP上級審査員。日本生協連・全農・全中のGAP開発と導入支援、表示監視体制構築の支援、農業労働安全・衛生管理指導、農産加工場・食品工場へのISO22000導入支援、有機JAS認定取得等のコンサルタントとして、500以上の組織を監査・指導。また、農林水産省・地方自治体のGAP研修の講師、日本野菜ソムリエ協会のも務める。



稲垣 栄洋 Hidehiro Inagaki

農学博士。専門は雑草生態学。静岡県生まれ。岡山大学大学院農学研究科修了後、農林水産省を経て、静岡県庁入庁。静岡県農林技術研究所上席研究員として活躍。2013年より静岡大学院農学研究科教授。農業研究に携わると同時に、雑草や昆虫など身近な生きものに関する著述や講演を行い、『身近な雑草の愉快な生きかた』『都会の雑草、発見と楽しみ方』他、著書多数。世界農業遺産に認定された「静岡の茶草場農法」研究の第一人者としても知られ、地元・静岡では、茶草場農法によって希少植物が守り伝えられ、豊かな生物多様性を持つ里山が保全されている。

【スケジュール】

- ◆7月12日(土): Bioアナリスト概論(徳江倫明)、生物多様性と農業(藤井淳夫)
- ◆7月13日(日): 畑と街の生きものたち(林鷹央)、昼: 畦の野草摘み&試食(徳永亜由美)
田んぼの生きものたち(林鷹央)
- ◆7月20日(日): 野草から考察する圃場環境(稲垣栄洋)、生きもの調査の手順(林鷹央)
フィールド実習(稲垣&林)

※修了試験に合格すると、「Bioアナリスト初級」の修了証が授与され、『生きもの認証システム』の生きもの調査において講師のアシスタントを務めることが出来る資格が与えられます。